

NPO法人夢検定協会の代表理事が東久邇宮記念賞を受賞

NPO法人夢検定協会（本部：東大阪市森河内西2-36-15）の代表理事である琵琶 博之が、「令和4年東久邇宮記念賞」を受賞することになりましたので、お知らせさせていただきます。

■ 1. 東久邇宮記念賞の概要（東久邇宮記念会のホームページから転載）

大衆のノーベル賞とも言われています。また、高松宮賞、秩父宮賞とともに三大宮様賞として親しまれています。

*別添「令和4年 東久邇宮記念賞の由来のご案内」を参照願います

■ 2. 受賞の決定方法（東久邇宮記念会のホームページから転載）

東久邇宮記念賞は、評議委員会によって選ばれます。受賞の目安は、原則として次のいずれかに該当する人です。

- (1) 産業、特に発明活動に従事し、その振興に携わっていること。
- (2) 産業、特に発明活動における社会的評価を受けていること。
- (3) 人格的にも優れ、将来への展望を持ち、努力を怠らない者。

■ 3. 想定される受賞理由

若者が夢を持ちにくいという社会課題を解決するアプローチとして、「夢検定」の商標登録(2021年7月)及びNPO法人夢検定協会を設立(2021年8月)し、全国初となる夢の資格試験「夢検」を立ち上げました。また、2021年4月から、同志社大学大学院 総合政策科学研究科 ソーシャル・イノベーションコースに進学し、社会課題の研究をしています。なお、過去に地方自治体の議会・首長等や地域主権を支える市民等の優れた活動を表彰する「マニフェスト大賞」の優秀賞を2度受賞(第7回・第9回)していることも一因と想定しています。

■ 4. その他

発明の日である4月18日に「ダイワロイネットホテル和歌山」で開催される授賞式に参加予定です。

■ 5. 本件に関する問合せ先

NPO法人夢検定協会 (<https://yumekentei.or.jp/>)

代表理事 琵琶 博之

TEL : 090-7967-1303

MAIL : biwa@gold.ocn.ne.jp

*同志社大学大学院 ソーシャル・イノベーションコース在籍

【別添 令和4年 東久邇宮記念賞の由来とご案内】

令和4年 東久邇宮記念賞の由来とご案内

昭和天皇の女嬪であられる東久邇宮盛厚殿下の発明哲学は「発明には上下の貴賤はない。小発明ほど尊い、ノーベル賞を百とるより、国民一人一人の小発明が大切だ。うまいミソ汁を考えた人には文化勲章を与えよ」といわれて、我々の名誉総裁になってくれた。晩年、病にたおれられたとき、会長だった私を招いて、「わが家の名と財産を使ってよいから、産業の発展につくした方に皇族賞を出して、顕彰してほしい。」と仰せられた。この記念賞は、その遺言によって生まれたのである。したがって、名誉顧問には、総裁の夫人である東久邇宮佳子様がなられている。この賞は、高松宮賞、秩父宮賞と共に三大宮様賞として親しまれている。

平成9年11月 豊澤 豊雄 謹記



受賞された皆様には、左記の賞状と下記の徽章が授与されます。徽章は、豊澤豊雄名誉会長と吉村靖弘会長がデザインされたものです。徽章の張子には、純銀製の土台に日本伝統工芸の一つと言われる「七宝」が施されています。



豊澤豊雄名誉会長（左）と東久邇盛厚殿下（右）



東久邇佳子様を囲む会 平成19年10月 京都萬重にて

大衆発明生みの親、豊澤豊雄名誉会長と
大衆発明を奨励された東久邇宮盛厚殿下を称える

東久邇宮記念会

特定非営利活動法人発明文化研究会

【参考：代表理事の写真】

